

県境道路沿道地域の人口動態および地域特性 —福井県嶺北地域を対象として—

福井工業大学 正会員 ○吉村 朋矩

福井工業大学 正会員 三寺 潤

神戸市立工業高等専門学校 正会員 小塚 みすず

福井大学 正会員 川本 義海

1. はじめに

東北地方太平洋沖地震や平成 28 年熊本地震では、県境を越えた広域的な道路交通ネットワークが早期に復旧、開通した。県境道路整備は災害時にも利用可能な強靱な広域交通網の構築の必然性から重要である。また、災害に強い地域づくりや、新たな観光ルートの開発など、県内外で行政区域を超えた地域間の連携が課題となっている。

そこで本研究では、県境道路を有する福井県嶺北地域を対象として、県境道路の特性について GIS を使用し、施設の立地状況と現況の人口動態を把握することで、県境道路沿道地域の課題と道路整備の方向性について明らかにする。さらに、県境道路の整備が現在進められている池田町を対象として、ヒアリング調査および現地調査を実施した。以上のことから、基礎的データの整理を行うとともに、県境地域における課題や道路整備についての検討につなげたい。

2. 研究方法と用いるデータ

(1) 研究の方法

まず、対象とする福井県嶺北地域の現況の人口動態と各種施設の立地状況について整理を行った。次に、県境道路を有している地域と有していない地域について、ArcGIS を使用し観光や医療等の各種施設の立地状況の可視化を図り分析した。さらに、現在県境道路の整備を進めている池田町を対象に現状の課題と県境道路整備の期待等に関するヒアリング調査および、冠山峠道路工事現場の現地調査を実施した。

(2) 本研究に使用するデータ

GIS 活用にあたっては、様々なデータを用いたが、本研究では主に、①各種施設(観光・宿泊・医療・公共施設)データ、②平成 22 年国勢調査の町丁目単位人口データ、③国土数値情報から得た境界データを

キーワード 県境地域、道路網、ヒアリング調査、地域特性

連絡先 〒910-8505 福井市学園 3 丁目 6-1 福井工業大学工学部 TEL : 0776-29-2574 (内 2550)

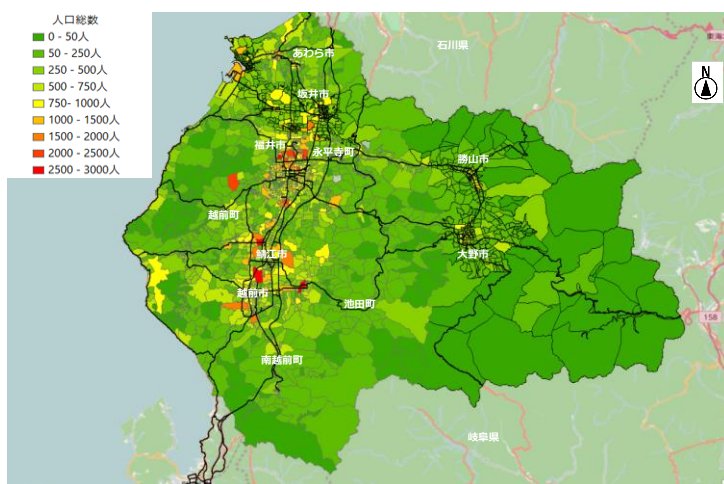


図-1 福井県嶺北地域の人口動態（現況）

使用した。

3. 県境道路を有する地域の人口動態

福井県嶺北地域の人口動態について図 1 に示す。嶺北地域において県境道路を有する市町は、あわら市・坂井市・勝山市・大野市・池田町・南越前町である。県境地域のなかでも、坂井市やあわら市のように高規格道路等（例えば、交通不能区間が無い道路）が整備されている地域の人口は、県境を越えた地域間において自動車等でのアクセス性が高い。このことから当該道路沿道に人口が多く分布しているのではないかと考える。一方、坂井市およびあわら市を除く県境地域は高規格道路等の整備が不十分であり、中山間地域に位置している。したがって、自動車等での地域間のアクセス性が低く、人口が少ないと考える。

表 1 には福井県嶺北地域の将来推計人口について示す。2010 年の人口指数を 100 とした場合、池田町のような県境道路を有する地域でかつ地域間のアクセス性の悪い地域は、2040 年になると約 30~40%の人口が減少することが国立社会保障・人口問題研究所により推測されている。

表-1 福井県嶺北地域将来推計人口

自治体	総人口 (人)								指数	
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2025年	2040年	
福井市	266796	262004	255325	246960	237535	227259	216298	92.6	81.1	
大野市 (*)	35291	32817	30522	28215	25928	23695	21525	79.9	61.0	
勝山市 (*)	25466	23999	22548	21080	19622	18200	16779	82.8	65.9	
鯖江市	67450	67195	66422	65251	63802	62131	60293	96.7	89.4	
あわら市(*)	29989	28683	27326	25842	24304	22706	21039	86.2	70.2	
越前市	85614	83139	80449	77357	73995	70418	66651	90.4	77.9	
坂井市 (*)	91900	90433	88416	85913	83099	79973	76544	93.5	83.3	
永平寺町	20647	20293	19796	19220	18631	18014	17325	93.1	83.9	
池田町 (*)	3046	2741	2461	2204	1974	1775	1588	72.4	52.1	
南越前町(*)	11551	10902	10265	9628	9023	8436	7849	83.4	68.0	
越前町	23160	22174	21167	20148	19128	18089	17018	87.0	73.5	
福井県	806314	784800	759770	731030	700185	667529	633236	90.7	78.5	

(*) 県境道路を有している市町

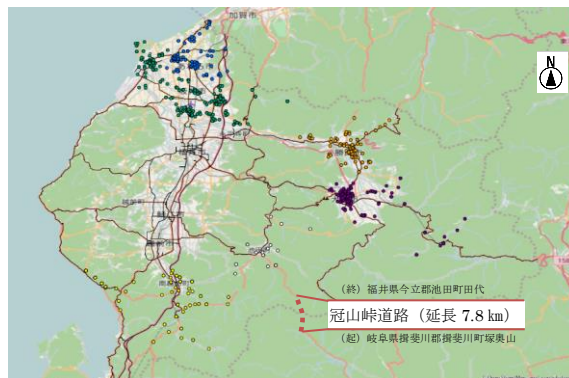


図-2 施設の立地状況と県境道路との関係

4. 施設の立地状況と県境道路との関係

県境路道沿道地域に立地する観光・医療・公共・宿泊の各種施設について図2に示す。公共施設や医療施設は緊急輸送用道路の沿道に多く、緊急・災害時に早急に対応できるように立地している。また、観光・宿泊施設について県境地域に多く見受けられることから、県境道路を整備することによって県境を越えた観光周遊も期待でき、交流人口の増加が見込まれるのではないかと考える。これらのことから、県境部の道路の整備の必要性が高い。

5. 県境道路の現状と今後の期待

(1) 調査概要

2016年8月29日(月)に、池田町内の県境道路に関して図3に示す冠山峠道路工事現場の現地調査を行うとともに、池田町の行政担当者を対象にヒアリング調査を実施した。これらの調査は行政区画を越えた県境道路整備の課題をより詳細に把握することを目的とした。

(2) 調査結果

① 県境道路の整備状況

岐阜県大垣市を起点とし福井県池田町を通る国道417号の冠山峠付近における7.6kmは、交通不能区間となっている。そのため、林道冠山線が当該区間の代替路として利用されている。一方、林道冠山線は線形不良箇所があり、急カーブ・急こう配が続いている。したがって、良好な道路状況、交通状況とは言い難い現況である。

② 県境道路整備の今後の期待

冠山峠道路の開通により、中京圏からのアクセス性の向上や災害時の交通の確保、広域周遊による観光活性化、さらには、地域間の交流促進が期待できる。また、嶺北地域で県境道路として整備が進んで



図-3 冠山峠道路第2トンネル工事現場(福井側坑口)

いる中部縦貫自動車道について、全線開通時には池田町への交流人口の増加を期待している。しかし、町内を通らないため、冠山峠道路開通による交流人口の増加に比べ直接的な効果は少ないのではないかと回答であった。一方で、観光周遊という観点から、行き帰り同じ道路を利用するのではなく、例えば中京圏からの観光客は、行きに北陸道、帰りは国道417号を利用するなど、利用道路の選択肢が増えることも冠山峠道路開通への期待・効果として挙げられる。

6. おわりに

本研究では、ArcGISを用いた県境道路沿道地域の人口動態・施設の立地状況と県境道路の関係を分析・視覚化した。その結果、県境地域は高規格道路等の整備が不十分であり中山間地域に位置していることから、自動車等での地域間のアクセス性が低く、人口が少ないことが分かった。さらに、池田町への調査の結果、冠山峠道路開通後には、交通不能区間の解消や移動時間の短縮、自然災害や異常気象などにも強い交通の確保、広域周遊による観光地活性化など、池田町と揖斐川町との県境道路整備によって見込まれている効果が明らかとなった。以上のことから、県境道路沿道地域では、人口減少・高齢化社会の影響が大きく、将来的にも継続的に人口減少が見込まれる。そのなかで、県境地域へのアクセス性の向上による交流人口の増加や災害に強い道路整備が今後より一層必要になると考える。